

学園だより

社会福祉法人 八戸市社会福祉事業団 うみねこ学園

八戸市大字鮫町字小舟渡平 9-50 TEL (0178) 38-0657



謹賀新年



本年も
真々切願
申上げます



新年になりました。あけましておめでとうございます。

いつもうみねこ学園へのご支援、ご協力をありがとうございます。

昨年はこれまで経験したことのない暑さの後、秋をゆっくり楽しむ余裕もないまま冬になったという印象です。この先どんな冬の終わりになるのかわかりませんが、早く暖かな春になることを願っています。

また、昨年は新型コロナへの対応が変わり、子供たちに関係する様々な活動が「コロナ禍前」に戻っていった年でした。その半面、新型コロナに加えインフルエンザへの対策も求められるなど、引き続き健康に関することも話題となりました。今年も同様の対応が求められると思います。

とはいえ新しい年です。ハッピーニューイヤーです。気持ちを新たにして、子供たちを中心にした支援を職員一丸となり進めて参ります。今年もどうぞよろしく願いいたします。そしてうみねこ学園にかかわるすべての皆様にとって良い1年になりますように。



さて、今回スペースをいただきましたので、昨年読んだ本の感想などを記します。私の中で一番印象に残った本は、黒柳徹子さんの「続 窓ぎわのトットちゃん」でした。徹子さんが戦時中に南部町諏訪ノ平に疎開していたことは新聞記事等で知っていましたが、この本でその当時のことをもっと知りたいと思ったのも購入した理由でした。

徹子さん一家は太平洋戦争末期、以前北海道から東京に帰る汽車の中で知り合った諏訪ノ平のリンゴ農家さんにお世話になり、疎開することになりました。苦労もたくさんありましたが、お母様の大活躍、徹子さんの機転やバイタリティーもあり乗り越えることができたそうです。三戸の学校の同級生やいろいろな人たち(旅役者の一行や陸奥湊のイサバのかっちゃんも出てきます)との出会いがあったり、「鉄橋で危機一髪」というような体験もしたりしたそうです。

本の中で心に残ったのは、仲の良い友達もでき、諏訪ノ平や三戸の学校に馴染むこともできた徹子さんですが(安心しました)、三戸の城山公園で「自分のいるところではここではない。自分のふるさと東京に戻り、再び元の生活をしたい」と思った場面です。ああそうだったのか、簡単に疎開と言うけど当時の人たちはたいへんな苦労をし、いろいろな思いもあったのだろうなあ、と思い至った次第です。

そして青森のこの地に来たことが、徹子さんの生き方に何らかの(良い)影響を与えたとしたら、地元民として誇らしいことだと思いました。

この本を読んだ後、久しぶりに43年前前に出版された「窓ぎわのトットちゃん」を開きました。その中に出てくる「トモエ学園」の小林校長先生の言葉を記します。「君は、ほんとうは、いい子なんだよ」。この言葉を我々はいつも携えて、普段接する子供たちへ手渡したいものだと思っています。

さて、最後に質問です。右の写真の男の子は誰でしょうか。


答えは小学校入学式当日の私です。後ろは名久井岳です。周りはりんご畑です。周囲の道路はまだ舗装されていません。

引き算してみたら56年前です。思えば遠くに来たものです。

「誰でもみんな子供でした」という言葉と一緒に、この写真を子供たちに見せてきました。大人は子供たちのモデルになるとともに、自分の子供の頃を忘れずにいたいものだと思っています。



園長 木崎 達広



クリスマス会

12月13日（水）にクリスマス会が行われました！

体調不良の児童や自宅療養中の児童も多く、規模を縮小

しての開催となりましたが素敵な会になりました！



規模縮小のためゲームは中止となりましたが
たくさんの余興を楽しむことができました🎅





今年もカゴいっぱいのプレゼントが！！
中身は なにかな～？？



今年の食事&ケーキはプラザホテル様！
とっても美味しかったね🍴





行事予定



- 3日(水) 帰園日
短期入所予約受付開始(～15日)
- 10日(水) 誕生会
- 17日(水) 避難訓練

※行事予定は変更になる場合がございますのでご了承下さい



- 1日(水) 短期入所予約受付開始(～15日)
- 7日(水) 誕生会
- 14日(水) 卒業・進級を祝う会
- 21日(水) 避難訓練



- 1日(金) 短期入所予約受付開始(～15日)
- 6日(水) 誕生会
- 13日(水) 避難訓練
- 22日(金) 春季家庭実習(～4月3日)
- 24日(日) 親の会役員会

